



いいもの成らせるさくらんぼ便り



Vol. 4 収穫目前!!適切な管理で高品質生産!

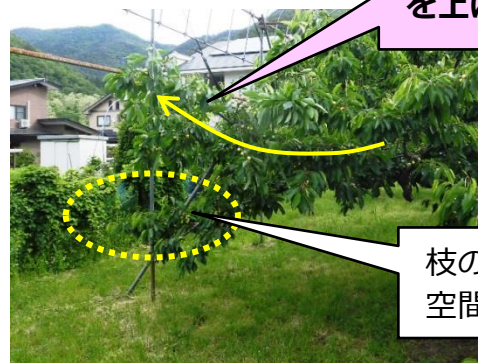
着果が多い園地は今すぐ修正摘果を！
防除も計画的に実施しよう。

1. 着色管理

(1) 枝吊り・誘引（新梢管理、葉摘み前に実施）

- ◆果実に光が当たるように枝吊り・誘引を行う
- ◆枝と枝の間隔をあけ、日当たりを確保する

- 下垂した枝は、先端が上向きになるよう吊上げ
- 誘引で枝の向きを変え空間を確保



枝の先端
を上げる

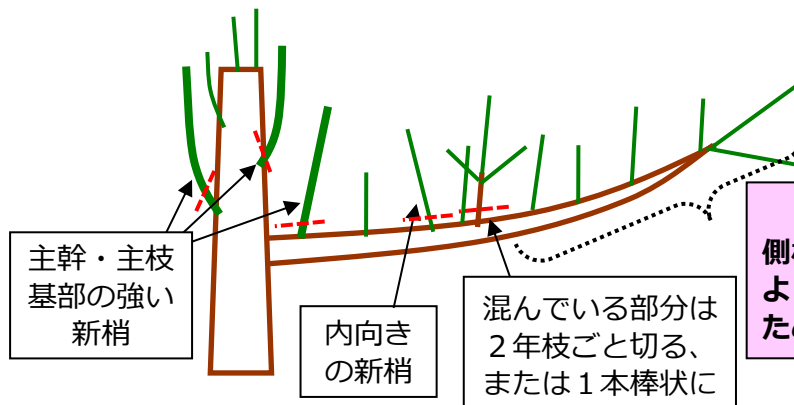
枝の間の
空間確保

(2) 新梢管理

- ◆樹冠内に光を入れ着色を向上させる
- ◆薬剤のかかりを良くし病害を減らす
- ◆発育枝を利用して樹勢を維持する(切り過ぎは樹を弱らせる)

- 主幹周り、主枝基部の混み合った新梢を切り取る
- 日焼け防止のため、主枝背面の新梢はコンパクトに残す
- 切り過ぎに注意（適度に残す）

※注意：樹勢が弱い樹では、新梢は切らない



重要
側枝の基部 1/3~1/2
より先は樹勢維持の
ため残す

(3) 修正摘果

- 着果過多の園地は**急ぎ修正摘果**を！
- 生育遅れの**小さい果実を優先**して摘果
- 果実同士の接触は、着色ムラの原因
- 摘果した果実は放置しない**

➡ ショウジョウバエの発生源

(4) 反射シート設置

- 着色始期頃（収穫2週間前頃）から設置
- 設置は、園地の**50%程度**で効果は十分

(5) 葉摘みは最小限に！

- 花束状短果枝当たり**4枚以上残す！**
- 過度の葉摘みは逆効果

手順

①小さい葉（マメ葉）を摘む

②果実に挟まっている葉、果実に覆いかぶさった葉を摘む



2. かん水(着色期～収穫期)

- 乾燥時は高温障害防止のため**3～4日おきに少量**かん水
(1～2t/10a、1樹100L程度)

※着果量の少ない園地・排水が良くない園地では、裂果に注意！

※かん水設備が無い園地では、SS等による樹冠下だけのかん水も有効

3. 防除

- 灰星病の重点防除時期**：定期的に薬剤を散布
- ショウジョウバエ対策**：防除間隔をあけずに防除

注意！

さくらんぼ作業中の事故が多発！！

- 脚立は**チェーン**を掛ける！**天板には立たない！**
- 無理な姿勢で作業しない！
- 危険な作業は**二人以上**で、携帯電話も**忘れずに！**
- 暑さが続くので、**熱中症にも注意！**

村山総合支庁農業技術普及課 ・ 西村山農業技術普及課 ・ 北村山農業技術普及課

TEL:023-621-8291

TEL:0237-86-8215

TEL:0237-47-8631

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会(事務局:農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課)